

ねらい

。実際に引き出しの中を片付けてみる体験的な活動を取り入れることにより、あと片づけをきちんとすると、気持ちがよいことを実感できる。

身に付けさせたいこと

- ・後片付けをきちんとすると、気持ちがよいことを理解する。
- ・使いやすくなることをより鮮明に実感できるようになる。

表れてほしい児童の意識(姿)

- あとかたづけをきちんとして、よかったな。
- これからもかたづけをあとまわしにしない。
- また、あとかたづけをしよう。



授業の流れ

学習課題を把握する 15分

1 イラスト<教科書 25 ページ>をみせながら、「なにをしているのか」を考える。<あとかたづけ・せいりせいとん>・あとかたづけしてほめられたことはあるか、ふりかえる。<ある、ない>・あとかたづけをするとどんな気持ちになるかを考える。<気持ちがいい。すっきりする。すぐ、みつかる。つかいやすい>

☆はじめに、黒板に主題をかかず、イラストをみせて、導入をし、興味を持たせる。
ほめられた経験を振り返ることにより、本時のめあてを考える。
☆教科書は使わず、イラストや写真をみて集中して考えられるようにする。

資料の内容を把握する 15分

2 整理整頓がされていない引き出し<写真>をみる。写真をみて、気づいたことを発表する。
<算数ブロックがケースから飛び出ている><のりのふたがしまっていない><はさみがとじていない><色鉛筆がケースからでている><クレヨンが出ている>
3. ひきだしから、どんなこえがきこえてくるか、引き出しの中にはいつているものの気持ちになって考え、ワークシートの吹き出しに書きだしてみる。
・<交流をする>

☆整理整頓がされていない引き出しをよく見て、毎日使っている学習用具の気持ちになって考える。
学習用具を擬人化させることによって、児童に気持ちを考えやすいようにする。
・ ワークシートに自分で書けない、言葉にできない児童がいることも想定し、友達のプリントを見にいく時間、赤鉛筆で加筆する時間をとる。

価値に深く関わる内容を実践する。 5分

4 実際に、自分の引き出しを出して、せいりせいとんをする。

☆自分の引き出しを<つかいやすくするために>整理整頓をする。

学習をまとめ、自己の生き方を考える 10分

5 本時の学習で考えたこと、思ったことを発表する。
○今日の学習をして思ったこと、気づいたことを発表させ、まとめをする。
6. 道徳ノート 9 ページにふりかえりを書く。

☆資料の内容を振り返り、めあての問いに対するまとめを行う。

☆あとかたづけをすると、ものがすぐみつかって、つかいやすくなる。身の回りを整理・整頓しようとする態度を養う。